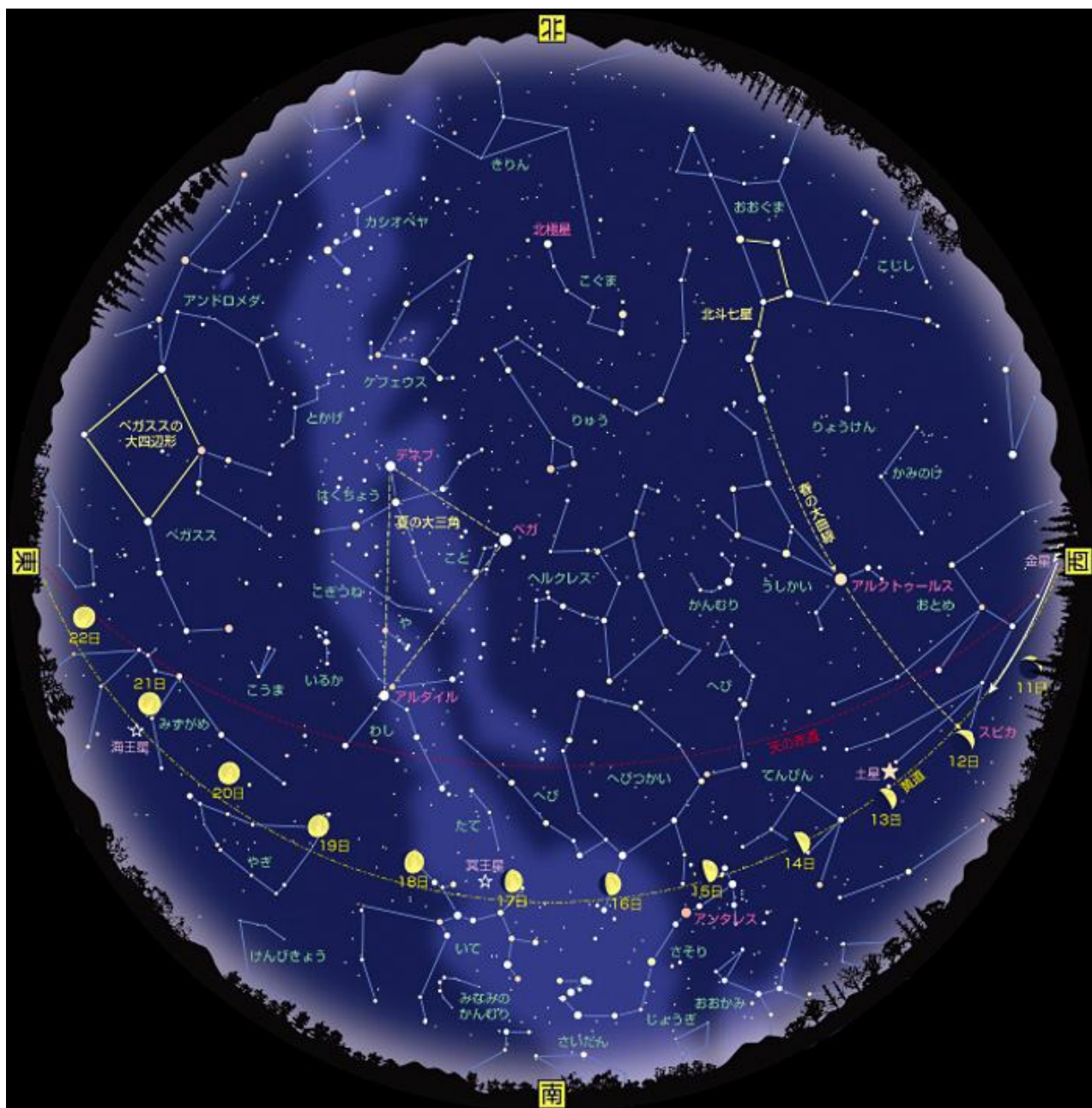


毎日暑い日が続いていますが、この夏も暑くなりそうな気配ですね。
とは言え、星空の観望に限れば大変条件の良い時期に入ってきました。
日が暮れるとすぐに現れるの宵の明星金星、その後土星、おとめ座の一等星スピカ等続々と現れる夏の星座達。

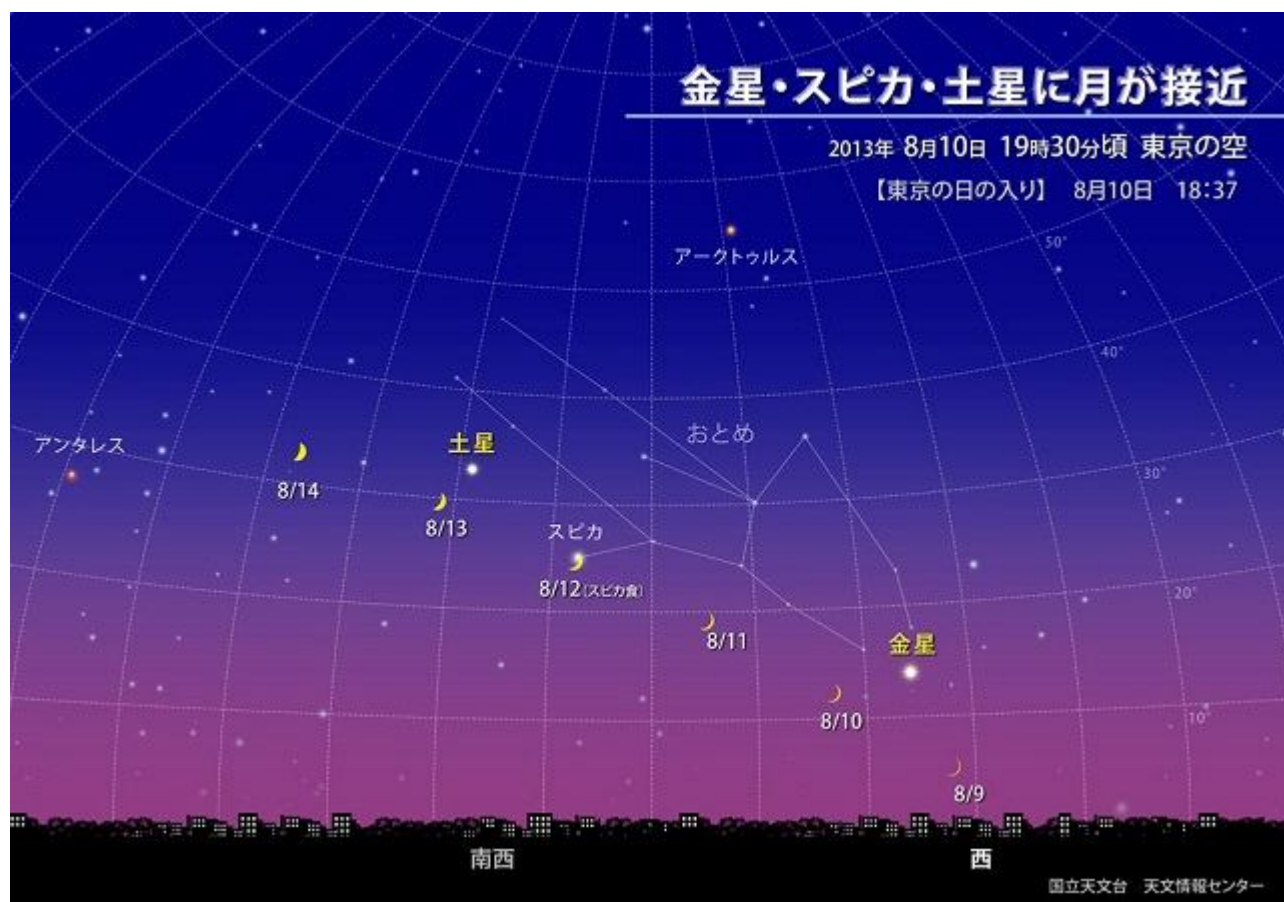


8月半ばの夜半には皆さんが良くご存知の夏の星座オンパレード、西の空には、おとめ座のスピカ、うしかい座のアルクトゥルス、また土星が名残惜しそうに並んで居ります。そして南の空には、真っ赤な色をしている星アンタレスを中心にS字カーブを描くさそり座、それを追いかける様子上がって来た、いて座、目を上に向けると（ひこ星）で有名な、

わし座のアルタイルその上には（おり姫）でご存知の、こと座のベガ、又そのすぐ上に十字の形をしている白鳥座のデネブ、これらの明るい3つの星を結ぶ三角形が夏の大きな三角と呼ばれるものです。

これらの星座（さそり座、いて座、こと座、はくちょう座、それにもう少し北に位置するWの形をしたカシオペア座）に沿って流れている天の川、それを双眼鏡で見てくださいます無数の小さな星が、まるで宝石のような輝きを放っている様子を垣間見ることが出来るはずで

す。因みに天の川の一番濃い所がいて座で我々のいる銀河系の中心方向です。8月10日頃には夕方月と金星・土星・スピカが見かけ上接近しますので夕方の空で確認して見てください。



また12日の深夜から13日の明け方にかけてペルセウス座の流星群が極大になり日本ではかなりの出現数が期待できるようです。



この図のように北東の空を中心に観測して見てください。

(あくまで中心はペルセウス座の方向ですが、天空全体に流れる流星が見られるはずです。)

*夜観測をされる方は夏とはいっても風邪等には十分気をつけてください。

*まだ早い気もしますが、今世紀最大級の彗星アイソン彗星が11月後半から双眼鏡でも見え始めるようです、12月に入り肉眼でも見えるようになり数字が確かなら満月と同等の明るさになると言われております楽しみですね。それと1月12日頃にこの彗星に起因した流星群が見られるとの情報も出てきています。